

第6回クラシエ漢方講演会 in 静岡

拝啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度、下記の要領にて漢方勉強会を行う運びとなりました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、是非ともご参加頂きたく御案内申し上げます。

敬具

日時 平成29年4月19日(水) 19:15～21:00

※講演会終了後、意見交換会を予定いたしております。

会場 静岡第一ホテル2F 富士 静岡市駿河区泉町1-21

TEL 054-281-2131

情報提供

19:15 『クラシエ漢方製剤のご紹介』

クラシエ薬品株式会社 医薬学術部

演題

19:30 『女性の悩みをサポートする漢方薬』

座長

東新田福地診療院

院長 福地 康紀 先生

講師

つちうら東口クリニック

院長 川嶋 浩一郎 先生

主催 クラシエ薬品株式会社 中日本医薬支店 担当：長野 晃久

TEL：054-653-7586

Mobile：080-3495-9324

〈 第6回クラシエ漢方講演会 in 静岡 〉 FAX：054-253-5763

御出席

御欠席

御施設

御芳名

川嶋先生より - 講演要旨 -

私は小児神経専門医で、毎日多くの発達障害や不登校、起立性調節障害(OD)などの子ども達を診ています。子どもの不調を診療する上で、母親が心身共に健康で愛情豊かであることが、とても大切であると実感しています。

幸い漢方専門医でもあることから、母児同服の考えに基づいて、母親に対する漢方診療も積極的に行ってきました。そうした時に、子どもはすでに元気になっているのに、毎月決まって同じ処方求めてくる母親がいました。よく話を聴くと、夫から「頼むからこの漢方を続けてくれ」と言われているとのことでした。夫は妻の月経前症候群(Premenstrual syndrome PMS)が酷くて毎月悩んでいたのですが、漢方を飲んでからびたっと穏やかになったと喜んでいたのでした。

PMSは20代の女性の8割が経験しているというデータもあります。「切れる女と懲りない男」という本を読んだことがあります。女性と男性では価値観や考え方や体調が生物学的にも異なるようです。家族の健康を考える上で、女性の心身の健康が特に大切だと思います。女性の活躍できる社会をめざす日本において、漢方薬の役割は益々大きなものだと思います。日頃、当院で用いている女性に有用と思われる漢方薬についてお話ししてみたいと思います。



川嶋 浩一郎 先生

1981年 筑波大学医学群医学類 卒業
1985年 筑波大学心身障害学系講師
茨城県立こども病院神経科非常勤(現在も継続)
1992年 西荻司ビルクリニック開設
1998年 つちうら東ロクリニック開設
2015年 第43回日本小児東洋医学会学術集会会頭
2016年 横浜薬科大学 研究員から客員教授へ昇格
(漢方と漢薬調査研究センター)

【会場案内】

◆ お車でお越しの場合 (静岡インターより約10分)



◆ 電車でお越しの場合 (静岡駅より徒歩約7分)



駐車場の数に限りがあります。満車の場合は近隣駐車場(有料)をご利用ください。
公共交通機関のご利用をお願いいたします。